

総合情報センターだより

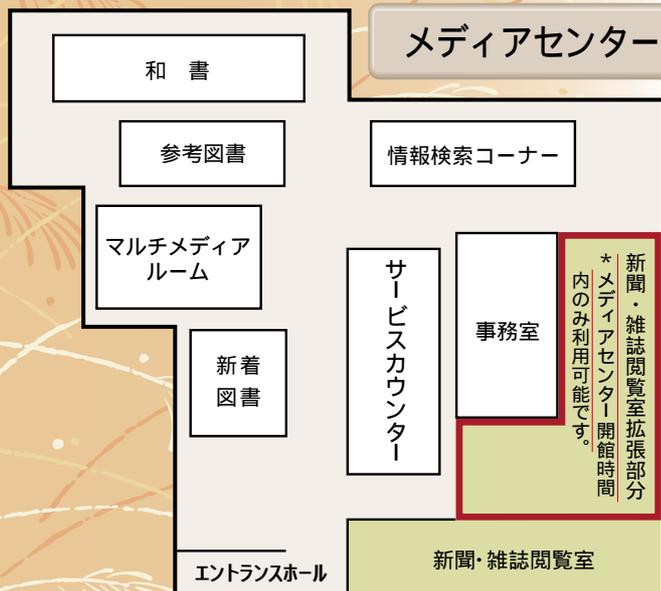
CONTENTS

トピック	表紙
インターネットを活用した就職活動最前線	2 3
教材作成現場レポート—ビラル イリヤス 経済学部常勤講師—	4
コア・データベースの活用法—加藤 稔 理工学部助教授—	5
新しくなったRUNNERSを活用しよう	6 7
レポート・卒論作成のために資料・データは、こうして探す 他	8

●メディアセンター(BKC)新聞・雑誌閲覧室が広くなりました●

メディアセンターは1994年の開館以来、理工学部の学習支援のため、さらに1998年の経済・経営学部のBKCへの移転に伴う文理融合を目指す教学発展のために努力して来ました。このたび、新聞・雑誌閲覧室に隣接する事務スペースに一部改修工事を行い、閲覧室部分を拡張しました。また、新聞・雑誌閲覧室の和雑誌書架配置を工夫し、閲覧環境の改善に努めています。

新しくなったメディアセンター新聞・雑誌閲覧室をぜひ、ご利用ください。



●RUNNERSからのお知らせ●

貸出中の資料の予約や他キャンパスからの取寄せが利用者自身で可能になります。自宅からでも貸出中であるかどうか確認できます。ぜひご利用ください。(本文6・7P)

インターネットを活用した 就職活動最前線

最近の就職活動では、インターネットや電子メールを利用することが一般的になってきています。今回は身近な携帯電話や立命館大学が提供しているオンラインデータベース、新しくサービスを開始したWebMailなど、就職活動に活用できるものを紹介します。効率よく情報収集をおこない就職活動にいかしてください。

● 携帯電話を使った情報収集

セミナーや会社説明会までの貴重な移動時間に、手元の携帯電話でできる情報収集を紹介します。

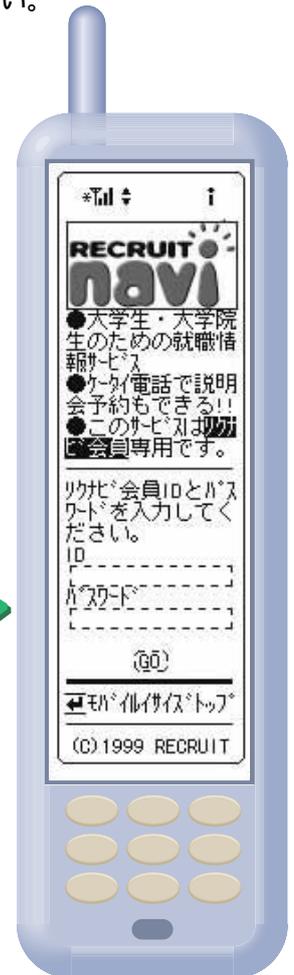
リクルートナビ

<http://www.isize.com/RN/>

(株)リクルートによる就職情報。ホームページと同様に下記のような情報が携帯電話から得られます。

最新の説明会情報や企業からのメッセージの確認
リクルートナビの活動履歴の閲覧とスケジュール自動記録
説明会「予約・キャンセル」機能 (i-modeのみ可能、有料)

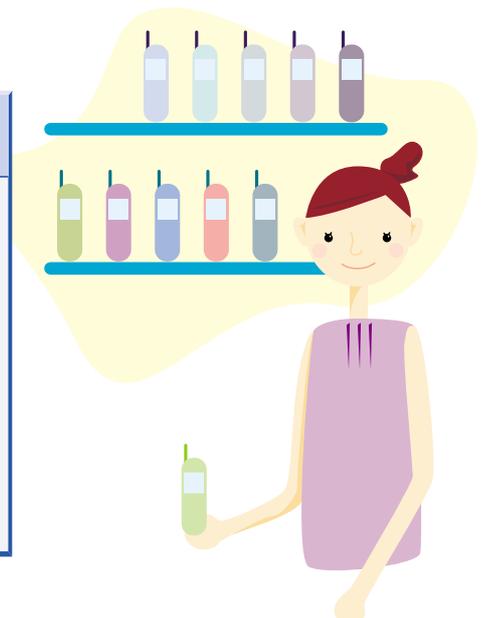
リクルートナビのIDとパスワードを入れてください。一度入力すれば、次回から入力は不要です。



携帯電話事業者別 メニューのたどり方

メニューで下記の各項目を順に選択してください。

NTT DoCoMo [i-mode]	au / ツーカー [EZ Web]	J-PHONE [J-SkyWeb]
「チケットリビング」	「生活情報」	「学ぶ・働く」
▼	▼	▼
「リクルートナビ」	「仕事・資格」	「働く」
	▼	▼
	「リクルートナビ」	「リクルートナビ」



● 就職活動に役立つオンラインデータベース

総合情報センターのホームページよりアクセスできる学術情報データベースの中から、就職活動に活用できるものを紹介します。

日経テレコン21

RAINBOWに接続されているコンピュータからアクセスできるデータベースで、新聞の記事検索や企業情報、人事情報などが検索できます。



朝日Digital News Archives(DNA)

1984年から現在までの朝日新聞と創刊号から現在までのAERA、2000年4月以降の週刊朝日の記事が検索できます。その中から企業に関する記事の検索に活用できます。



● いつでもどこでもWebMail(<http://wmail.ritsumei.ac.jp/>)

WebMailはNetscapeやInternet Explorerなどのブラウザソフトでメールができるシステムです。これを利用すると大学だけでなくインターネットカフェやUターン就職活動で実家に帰っても、インターネットに接続されているパソコンがあればどこでもメールの送受信ができます。

－ 注意点 －

ATSONでメールを管理している人がWebMailでメールを管理する場合は、メールの受信先の設定変更が必要です。変更方法はRAINBOW GUIDE2000(P.70)や教育研究システム課のホームページ、または窓口で配布しているマニュアルを参照してください。



! アドバイス

就職活動ではインターネットも有効な手段ですが、それだけが全てではありません。キャリアセンター窓口でも様々な情報を提供しています。また、キャリアセンターホームページ(大学トップページからリンクがあります。2001年1月リニューアル予定)でも役立つページへのリンクがありますので、ぜひ参考にしてください。正しい情報収集と判断で就職活動をしましょう。

教材作成現場レポート

● インターネット時代に対応した中国語学習教材の構築 ●



ビラール イリヤス
(Bilal ILYAS)
経済学部常勤講師

デジタル情報化社会における語学教育が多様化され、コンピュータを用いる語学教育が注目を浴びようになってきています。そこで、語学教育になぜコンピュータを用いるかということと共に「びわこ・くさつキャンパス」で使われている自作のインターネット対応中国語学習教材の特徴および可能性を簡単に紹介します。

語学教育にコンピュータネットワークを導入すると、少なくとも、次の幾つかのメリットを得ることができます。

① 場所・時間の制限から解放され、各自が自分の空いている時間で、自分の求めている内容にアクセスし受講することが可能です。② 生身の人間同士の向き合いが解消されるので、必ずしも教員が必要である場合を除けば、教員の授業負担を増やさずに特別授業や補講などができるようになります。③ 音声データを音節単位で扱うことができます。(発音の学習過程ではいつも音節単位で発音の正確さが求められますが、人力に頼ってこれらを一人一人に教授するのはひと苦勞です)④ 情報発信・情報公開が簡単にできます。よって、教材開発と教育改革などの面で大いに力を発揮します。

しかし、市販の教材では、特定のプラットフォーム・機種に依存しているため汎用性が欠けている上、用語やパターン、修正・追加などができないという共通した決定的な欠点があります。従って、市販のものを自分の教材内容のベースに合わせることが難しいのが現実です。

そこで、上記のメリットを最大限に生かしたインターネット対応の中国語教材を自作しました。

市販のものに対して、この自作ソフトはJavaScriptというインターネット言語で記述されているので、機種とブラウザを問わずあらゆる環境で作動します。教材を外部から与える仕組みになっているので、ソフトのソースをいじらずに教材内容の修正追加が簡単にできます。移植が簡単です。教材がハイパーテキストで記述されているので、教材に音声、画像、テキストなど多くの情報を正確に提示することができます。教材をオープンにすることが簡単です。

この自作ソフトで、①ピンインの学習、②単語の学習、③リスニングおよび④ドリルなどができます。ピンイン部分では基礎母音、基礎子音、声調付き母音、声調付き子音および声調付き音節表の学習が音声だけではなく画像とテキストによる発音ヒントを見ながらできるようになっています。ドリル部分では並べ替え、翻訳、穴埋め、選択、記述など多様な形式で中国語の学習ができます。なお、詳細については、「立命館教育科学研究」第16号および「立命館言語文化研究」12巻2号をご覧ください。

最後に今後の授業形態について一言付け加えますと、コンピュータネットワークを用いる語学教育は学校教育に不可欠な教授方法になっていくに違いないと確信します。



コア・データベースの活用法



理工学部 応用化学科
加藤 稔 助教授

研究を行う上で大前提となることは、それがこれまで未発表で、新規のものであることです。ゆえに、研究者は、他の研究者の研究にも無関心ではられません。しかしながら、自分の関連のある分野の研究論文をまともにチェックすることは不可能です。ある特定の分野に関連する学術雑誌の発行部数は、典型的な例で、年間1000から2000程度といわれています（私の専門分野は、物理化学と生物物理学に関連しますが、実感としてそのぐらいはあるかなと思っています）。さらに年々雑誌の発行数は増加の一途をたどっています。この問題を解決するのが、“データベースの効率的な活用”ということになります。

あるアイデアを発端に研究をスタートするときに、類似あるいは関連する研究例を調べます。このような検索での成功の秘訣は、『質の高いデータベースを用いること』と『効率よく、必要とする情報にたどり着くこと』です。本学にも導入された、DialogSelect^{*1}は質の高いデータベースを数多く集めたデータベースの有名百貨店のようなもので、しかも店員は非常に優秀です。以前私はUncover, MEDLINEなどWeb上で、フリーで使えるデータベースをいくつも組み合わせて使っていましたが、有り難いことに、今では驚くほど簡単に必要十分な情報を手にすることができます。

文献をチェックするもう一つの目的は、最新の研究の動向を把握することです。関連分野の雑誌をすべて挙げるととても多くなりますが、重要性の高い論文が掲載される有力雑誌の数は限られます。ただし、定期的にチェックすることが重要です。私は、RUNNERSのSDIサービス^{*2}を活用しています。このサービスは、keywordsを登録しておく、それにhitした文献情報を定期的にE-mailで届けてくれるというものです。私は、このkeywordsに、雑誌

名(Science, JACS, etc.)を登録しています^{*3}。E-mailは定期的に送られますので、忘れる心配はありません。後でそれをワープロ等で加工することもできます。チェックし終えた情報は順次消していけばいいのです。よく似た機能が、DialogSelectの中にもあるようです。探してみてください。

目的が異なれば方法は異なってくるし、同じ目的でも、使いやすい方法は人それぞれです。立命館は数多くのコア・データベースをもっています。求めれば、その中で自分の目的にあったものを、自分にあった使い方を、きっと見つけられると思います。

*1 概要は、総合情報センター発行の「学術情報データベース活用ガイドブック」を、利用に当たっては、ジー・サーチ社のホームページからマニュアルをダウンロードされることをお勧めします。

*2 ただし、このサービスは、専任教職員に限られています。

*3 SDIサービスが利用するデータベースは膨大なコンテンツ情報を持っていますが、分野を限定できないため、安易に“keyword検索”を行うと、関係のない大量の文献情報がhitしてしまい後の処理がやっかいです。様々なkeywordを組み合わせた論理演算子の利用などの工夫が必要です。それぞれのデータベースの特徴をとらえた上で利用することが、データベース活用法のコツです。

新しくなったRUNNERSを活用しよう

● 利用者による「予約・取寄」が可能になります ●

2000年4月から、立命館学術情報システム（通称：RUNNERS）が生まれ変わりました。

標準検索・詳細検索の2種類の画面から検索することができます。詳細検索画面では、タイトル・著者等の項目毎に検索することができます。また、全文検索による検索が可能になりより幅広く、きめ細やかな検索結果が得られるようになりました。

蔵書（立命館大学・立命館アジア太平洋大学が所蔵している図書・雑誌等の目録所在情報データベース）・洋雑誌コンテンツに加えて、出版情報（書店の新刊情報等）・和書コンテンツ（図書帯情報・目次情報等）のデータベースが追加されました。どちらのデータベースも、探している本を見つける時の情報として、購入希望を申し込む際の情報源として、ぜひ活用してください。

「予約・取寄」をしてみよう

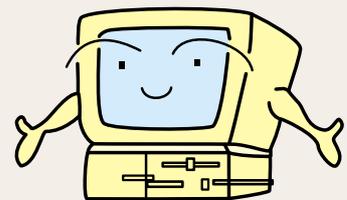
貸出中の資料の予約申込、図書館・メディアセンター・メディアライブラリー・APUライブラリーが所蔵している資料の取寄申込が皆さん自身で行うことができます。RAINBOW（立命館統合情報システム）に接続する環境が整っていれば、いつでも、どこからでも資料の「予約・取寄」を行うことができます。（同一キャンパス内での資料の取寄を行うことはできません。）

また、「利用状況の確認」メニューで、資料予約期間延長、連絡先の変更ができます。

クラス・ゼミ等の活動での資料集め、授業の課題・レポート作成など様々な学習や教育研究活動に、新機能が加わったRUNNERSをぜひ活用してください。



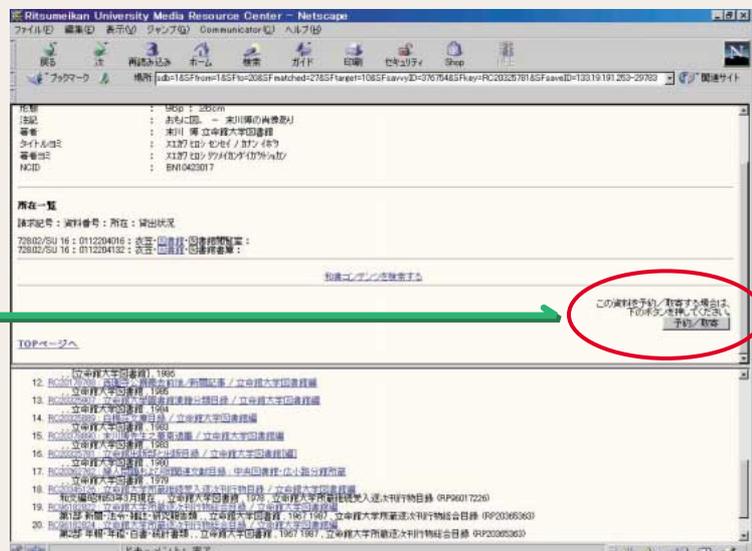
探していた資料がRUNNERSで
みつかった！しかし。。



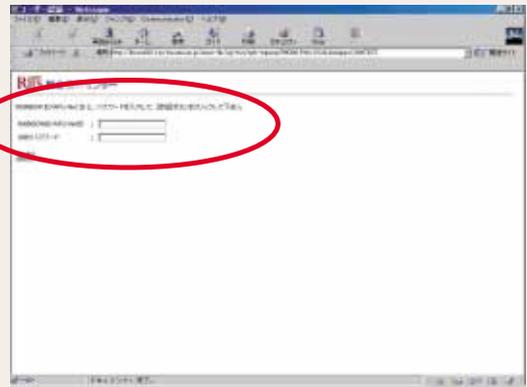
探していた資料が貸出中である。
探していた資料が他のキャンパスにしかない。

どうしよう??

こんな時に、RUNNERSに新しく追加された「予約・取寄」機能を活用してください。自分自身で、「予約・取寄」をすることができます。



RAINBOW IDもしくは、APU-Net IDとUNIXパスワードを入力してください。
 なお、UNIXパスワードを失念された方は、教育研究システム課の窓口にて「パスワード再発行手続き」を行ってください。



「予約」「取寄」の注意事項を確認の上、処理を行ってください。
 「予約」と「取寄」の違いに注意してください。



取寄希望館、受取希望館、連絡方法、連絡先を選択し、確認してください。

注：「予約」の場合、取寄希望館を選択することはできません。



< 入力画面 >



< 確認画面 >



「予約」「取寄」完了！

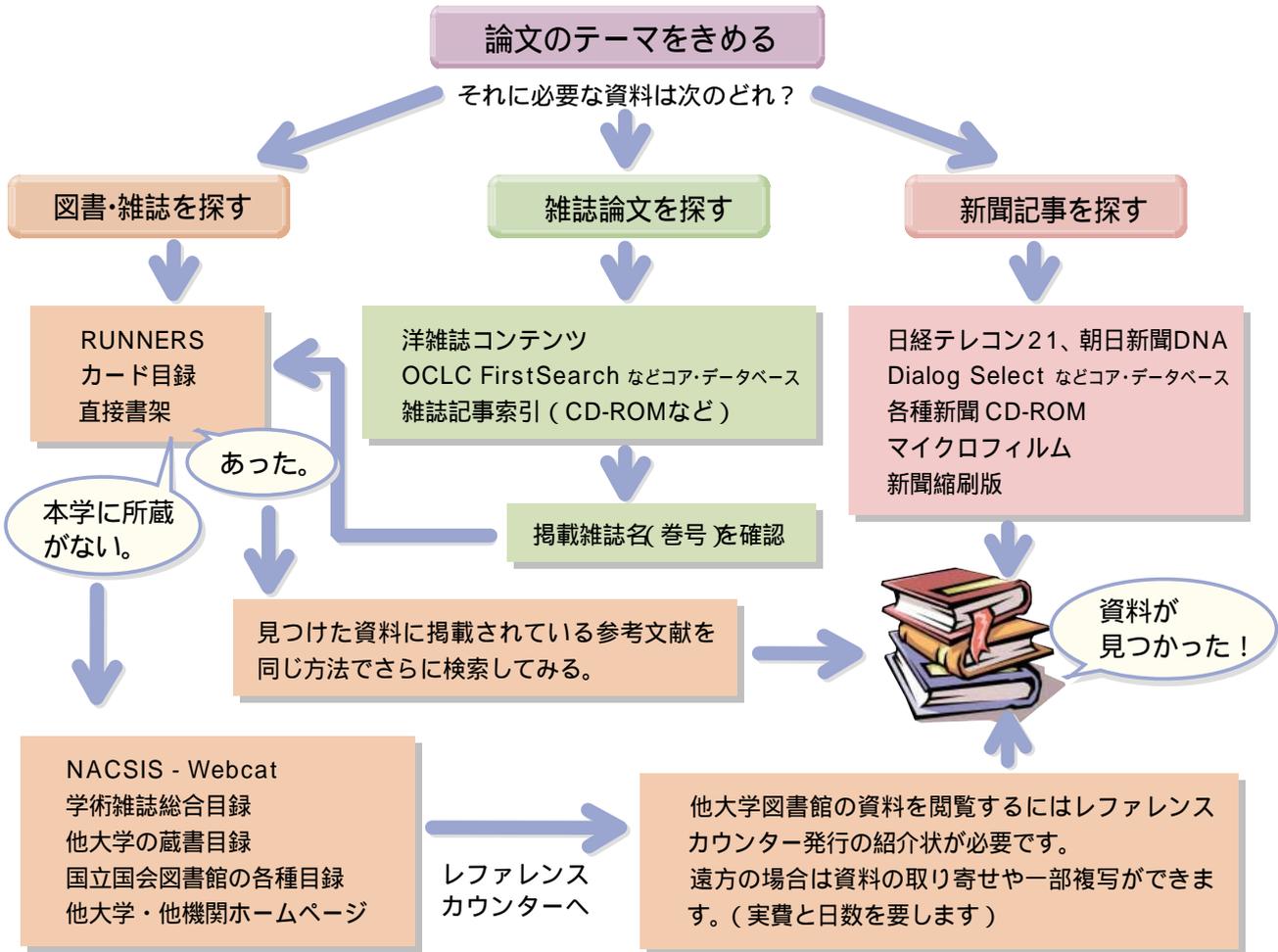
後は、資料の到着連絡をお待ちください。
 到着の連絡が届いたら、受取を希望したカウンターで、資料をお受け取りください。
 なお、カウンターでの取置期間は3日間です。ご注意ください。



利用者自身で「予約・取寄」を行う場合は、RAINBOW IDもしくはAPU-Net IDが必要です。
 RAINBOW ID、APU-Net IDがない利用者は、図書館員が「予約・取寄」を行いますので、最寄のカウンターへお越しください。

レポート・卒論作成のために 資料・データは、こうして探す

レポート・卒業論文を思い通りに完成させるためには、よりスピーディに広範囲に資料を集めることが第一です。あなたのテーマに沿った資料をみつける検索システム・データベースが、本学には豊富に揃っています。下記のチャートに従ってツールを駆使し、ぜひ学習に役立ててください。



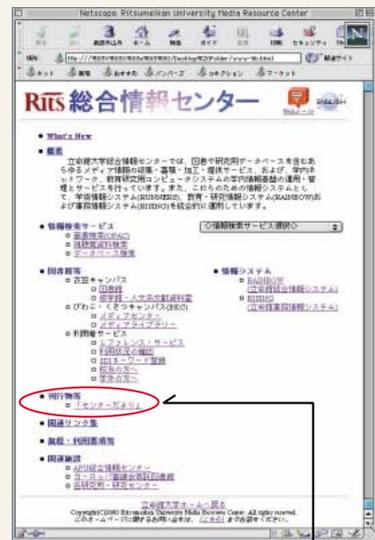
● 立命館大学総合情報センターのホームページ (<http://www.ritsumei.ac.jp/www-lib/>)が9月から新しくなりました。

利用内容ごとにアクセスがしやすくなりました。各種データベース検索、各施設利用案内などぜひご利用ください。



● 立命館大学法学部創立百周年記念に関連し、「法学部の百年展」を開催。

立命館大学法学部は、今年で創立百年を迎えました。それを記念して、法学部と図書館(衣笠)の共催で、2000年9月21日(水)から9月27日(火)まで図書館1階フロアで「法学部の百年展」を開催しました。本学の図書館に所蔵している法制史関係の貴重資料、法学部の発展に貢献した教員の業績とその資料、法学部の創立から百年の歴史を物語る資料を約60点展示しました。



“総合情報センターだより”のバックナンバーもぜひご覧ください。